

# 2018 (平成30) 年度 学科開講科目

●必修科目 ○選択科目 (数字は単位数)

## 基本科目

### 人類と文化 世界の文化を鏡に自分の文化を客観的に考える ②

文化人類学は、異文化を理解しようとする時、自分の常識を問い直すことからスタートします。世界の様々な異文化理解を深めると同時に、自分の文化も客観的・相対的に考えていきます。さらに、講義内容の理解を深めるために、必要に応じてビデオやスライドなどを上映します。

### 宗教と人間 基礎を習得し人と宗教との関わりを理解する ②

宗教は人類の営みの中で重要な役割を果たし、現在も人々の暮らしに大きな影響を及ぼしています。この講義では宗教に関する基礎的な知識を身につけるとともに、世界各地の様々な生活習慣、文化活動のなかから宗教の影響を受けているものについて学びます。

### ことばと文化 様々な角度で日本文学と文化を見つめ直す ②

日本文学・文化を眺め、「ことば」と「文化」の密接な関係を再発見します。他国文化(空間的距離)や、昔話・伝統芸能(時間的距離)も視野に入れ、現代の日本文化との共通性や違いを学びます。現代がどんな文化の延長上にあるのかを考えるとともに、自分の考えを文章にまとめる力も養います。

### 人間行動と社会 人間の考えや振る舞いを社会心理学から解く ②

人間は誰しも社会のなかで生きており、個人の考えや振る舞いは周囲の人々や社会の仕組みのあり方に大きく影響を受けています。そうした社会と人間行動の相互作用や影響過程に関する社会心理学の研究を解説します。専門用語、基本的理論を習得し、社会心理学的なものを見方を養います。

### 倫理と社会 現代社会の具体例から幸福を考える ②

人工知能の技術が急速な進化をとげている現代、人間社会の価値観にも変化が生じている社会は、人々の幸福達成にどのように関与していくのでしょうか。倫理的諸問題と関連づけながら、より良い生き方への課題を探ります。

### 公共の思想 近代ドイツの歴史をもとに公共を考察 ②

ハンナ・アーレントの「全体主義の起源」と「人間の条件」を参照し、近代ドイツの歴史を事例に「公共」について考察し、現代の公共を取り巻く問題を考えていきます。

## 主題科目<人間と文化>

### 日本の歴史 中世の人々の法意識を探る ②

日本中世における法と法意識を学びます。「中世人」は法をどのようにとらえていたのかを慣習法や成文法の歴史をたどりながら、法とその背後にある当時の人々の法意識を探っていきます。

### アジアの歴史 アジア史の流れをつかみ歴史的背景を理解 ②

高校の世界史や日本史で学んだ材料を手がかりに、東アジアの近代に何が生じたのか、それはいかにして起きたのか、人々はそのなかで何を経験したのか、といった東アジア全体の歴史について学び、制度や文化、経済や社会などの多角的視点から見つめ直します。

### ヨーロッパの歴史 帝国から見たヨーロッパ史 ②

古代ローマ、イギリス、ドイツを対象に、帝国という視点からヨーロッパの歴史を振り返ります。本講義では、政治に限らず、経済・社会・文化等の幅広い視点から考察します。

### 日本の文化 日本文化を理解し再検討する ②

「ワビ・サビ」や「もののあはれ」など、日本文化の特徴を表す言葉として、しばしば取り上げられてきたテクニカルタームは、日本文化の特質を正しく示しているのでしょうか。歴史的背景に留意しつつ、日本文化への理解を深めるとともに、日本文化を考える際のバックボーンをつくります。

### アジアの文化 文化の多様性と隣接地域との関係を知る ②

東アジア諸国の多彩な暮らし、生活儀礼と世界観、信仰と宗教、年中行事と食など、人々の暮らしのなかに脈々と受け継がれている行為や習慣などの様々な事例を題材とし、その現状や変化、地域差などを解き明かし、行動や考え方の根底にあるものを探求します。

### 現代の文学 長編小説を読解し、世界の「読み」方を鍛える ②

西條ハナ・なかにし礼・阿久悠という3人の作家・作詞家を取り上げ、現代文学からJポップの一流流を辿ります。それぞれの作品を扱い、テキストの読み解き方を学び、世界の「読み」方を鍛えます。さらに描かれている昭和・平成日本を知ることで、現代を生きるための指針を得ることも目標とします。

### 映像と文化 喜劇映画から日本と日本人を考える ②

「出来ごころ」「男はつらいよ」「ニッポン無責任時代」「釣りバカ日誌」などの日本映画を題材に、昭和戦前から現代に至る喜劇の系譜を辿ります。蓄積してきた笑いの文化について考察することで、日本と日本人について考える端緒をつかみます。

### ヨーロッパの文化 各国の文化の概要と構造について説明 ②

グローバリゼーションの進展にともない、様々な文化的背景をもつ人々とのコミュニケーションの必要性がますます高まっています。その一つであるヨーロッパ文化の理解を深めるために、各国文化の概要と構造を説明し、ヨーロッパ文化を鏡に、今日の私たちが直面する諸問題を考察します。

### アメリカの文化 アメリカンナショナリズムの系譜 ②

植民地時代から20世紀までの歴史を振り返り、アメリカのナショナリズムの誕生と変容を学んでいきます。ナショナリズムを見ていくことで、現代の我々自身の価値観を振り返っていきます。

### 神話の思想 神話を人類最古の哲学的思考として分析 ②

世界各地の主要な神話についての知識を習得し、神話を幼稚で非合理的なものではなく「人類最古の哲学的思考」と見なす考え方を学びます。こうした考えに基づいて、講義では「シンデレラ物語」を解釈し、神話の分析方法を理解するとともに、自ら分析できるようにします。

### 人間の心理 心理学的観点から自分を見つめ直す ②

私たちは日々、自分自身や他者の姿をとらえています。その解釈や推論の過程には一定の法則があります。人が自分や他者、社会を認知・理解する際に働く様々な心理過程について、日常生活で経験する事例や科学的根拠を示しながら解説します。心理学的観点から自分を見つめ、自己理解を深めます。

### 古典の文学 様々な作品に触れ興味関心を見つめる ②

主に平安時代の文学を取り上げ、各作品選り抜きの場面をたどる「ダイジェスト古典」。古典を「文学」として読む態度を身につけます。様々な作品に触れながら各自で興味・関心を見つけ、最後にレポートとしてまとめます。授業プリント以外の関連資料に触れる機会も求めます。

### 芸術と文化 日常生活と芸術・デザインの関わりを知る ②

近代以降の社会において、芸術と文化がどのように関係しながら発展してきたかを概観します。現代社会における私たちの生活は、芸術的表現およびデザインによって支えられてきたとも言えます。芸術・デザインにおける表現の考え方、日常の生活を支えるものや表現についても理解していきます。

## 主題科目<現代の社会>

### 経済と社会 国内経済の仕組みと働き、経済政策を解説 ②

景気が悪いと企業は生産を縮小し、雇用機会は減少します。人々の所得も減り、商品はさらに売れなくなります。景気はどのように回復していくのか、経済活動全体を俯瞰する考え方を紹介し、国内経済の基本的な仕組みと働き、政府が行う経済政策について解説します。

### 企業と経営 身近な企業の事例から仕組みと運営を学ぶ ②

私たちは生活に必要な財・サービスを企業から購入し、そのために必要なお金を企業で働き得ています。私たちと深い関わりを持ち、社会や経済にも大きな影響力を持つ「企業」。その社会的役割を理解し、運営の仕組みを学び、身近な企業の事例を取り上げながら、企業と運営の仕組みを解説します。

### 政治と生活 「市民が創る公共」がテーマ ②

政治は、政治や行政の専門家だけが担うものではなく、その中心には常に市民の存在があります。「政治には興味がない」という人にも「市民が中心の政治」の具体的なイメージを楽しく紹介しながら、理解しやすい授業を展開します。政治が実現するテーマを個別に具体的に考える能力を身につけます。

### 法律と生活 契約という法律制度の背景を深く洞察する ②

売買契約の理解を出発点とし、契約に付随する担保・保証、債務不履行などの諸制度について学び、権利に関連する紛争や紛争解決制度(訴訟)、権利実現制度(執行・倒産)についての基本的事項について学習します。契約という法律制度の背景にある様々な権利や義務、裁判制度について洞察を行います。

### 現代の人間関係 身の回りの人間関係を心理学的に理解 ②

日常的に経験する人間関係の諸問題について、その背後にある人間の心理を理解することを目的とします。人が人と関係を築きたいと思うのはなぜか、関係が崩壊するのはなぜか、人を助けることもあれば傷つけることもあるのはなぜなのか。身近な例を取り上げ社会心理学の理論を解説します。

### 現代社会と福祉 身近な事例から社会福祉を解説する ②

社会生活上の諸問題には、格差、貧困、社会的不平等、保育や介護などの多くの生活問題が含まれます。本講義では、消費者の立場から社会福祉の身近な事例を取り上げ、福祉問題の概要、内容、仕組み、課題などについて解説します。

### 現代の家族 現状と問題点を分析し考察する力を養う ②

「家族」の形態や観念は時代や文化によって異なります。この講義では、家、婚姻、子育てなど様々な角度から、「家族」を取り巻く今日的な課題に関心を持ち、考察する力を養います。

### 現代の教育 教育の今日的な課題を考察 ②

人間の成長発達、学校制度、社会教育、生涯学習などから「教育」について学び、子どもの権利と成長を保障するという観点から今日の教育課題と可能性について考察する力を養います。

### 現代のメディア メディアの役割を批判的に読み解く ②

高度情報化社会において、メディアは出来事そのままを私たちに伝達するわけではありません。本講義では、テレビ、SNSなどのメディアとジェンダー、観光などのテーマを取り上げて批判的に読み解いていくなかで、情報を適切に取捨選択しつつ主体的に物事の判断をする力を身につけます。

### 情報と社会 情報通信技術の基礎知識と活用法を身に付ける ②

現代社会と密接に結びついている情報の生産、処理、流通、利用に関しては、情報を収集、分析し効果的に活用する能力が要求されています。情報通信技術の発達が社会の発展と変化に対してどのような影響を与えているかを学ぶとともに、今後の社会変化の方向を展望します。

### 環境と社会 実態を学び「新しい環境観」を展望する ②

環境問題の克服は、これからの人間社会が取り組むべき最優先課題の一つです。様々な規模で起こる環境問題の実態について学習し、これらの問題を背景にして生まれた新しい環境観を概観します。問題解決のため、どのように「循環」と「共生」の社会を構築していくかを考えます。

### 食料問題と日本 身近な「食」から現代日本の問題を考察 ②

現在、日本には食料が満ち溢れていますが、豊かに見える食生活の背後には、国際的な食糧の不均衡、食の安全性、環境・エネルギーなど様々な問題が存在しています。食料という身近な素材を通して、現代日本の抱える問題を考察するとともに、知っておきたい食の安全に関する知識を学びます。

### 国際社会と日本 外国人留学生の質問を通して日本を知る ②

「留学先で日本のことを質問されて答えられなかった」、「日本について留学生に説明したのに理解されなかった」など、これまで外国人留学生から実際に受けた七つの質問に答えながら、日本の経済、社会、政治、文化についての理解を深めていきます。

## 研究科目

### 専門ゼミナール ②

### 卒業研究 ①